

喜多方市の^{さむのじんじゃ}佐牟乃神社、^{とうぞう}熱塩の示現寺のほか三ヶ所、合計七つの銅像があります。

^{きょうど}郷土のために^{つく}尽した人は、^{つぐ}瓜生岩子のほかに次のような人もいます。どんなことをして郷土のために^{つく}尽くしたのか調べてみましょう。

○ 用水路をつくった人 ^{すずきげんじろう}〔鈴木源次郎〕

江戸時代、今の金屋、針生、上野、田中、五目、根岸、下谷地、鷺田に、^{かんがい}灌漑のための用水路（ハヶ村堰）を野辺沢川よりひくために、今の新村方面から針生の山地をほって、水を通す大工事をなしとげた人です。

○ 熱塩に信仰の里を開いた人 ^{げんのうおしょう}〔源翁和尚〕

現在の^{じげんじ}護法山^{もと}示現寺の^{きざ}基を築いた^{なんぼくちよう}南北朝時代（1336～1392）の^{ぜん}禅僧である。源翁和尚は、^あ荒れ果てた^{かいしゅう}寺を改修し、^{あら}新たな寺（現在の示現寺）を^{つく}造り、^{しゅぎょうそう}修業僧の^{どうじょう}道場としても^ゆ発展させた。また、^ゆ湯元を^{もと}発見し、今日の熱塩温泉の基を築いた人です。

○ ^{じゆうみんけん}自由民権を^{かつやく}さけび、この運動に活躍した人びと

〔^{ぶんじ}三浦文治、^{しんろく}三浦信六、^{そうまつ}上野莊松、^{へいざう}原平蔵、^{なおき}遠藤直喜、^{とよはち}遠藤豊八ら〕

明治時代、全国の自由民権家とともに、国会の開設、^ち地租の^{けいげん}軽減などを^{ようきゅう}要求し、また、^{けんれい}県令（今の^{けんちじ}県知事にあたる^{やくしよく}役職）が^{さんぼう}会津三方道路（明治15年、若松から山形・栃木・新潟への3県に通ずる道路）を開こうとして、^{なっとく}住民が^{むり}納得のできない^{ろうどう}無理な労働をさせようとしたり、^{ふどう}工事費を無理に^{せいさく}集めようとする^{ふどう}不当な政策に^{かっどう}反対してたたかい、農民の先頭に^{かっどう}立って活動した人びとです。